

令和6年度 各委員会の活動

教育福祉委員会 [11月5日・6日・7日]

教育福祉委員会は、兵庫県明石市と大阪府大阪市を訪れました。明石市では子ども・子育て支援の取り組みについて、大阪市ではインクルーシブ教育の推進について現地視察と意見交換を行いました。



インクルーシブ教育とは

障害や病気の有無、国籍、性別などの違い・課題を越えて、すべての子どもが同じ環境で学びあう教育のこと



兵庫県明石市



大阪府大阪市（長原小学校）

広報委員会 [11月11日～12日]

広報委員会は、東京都あきる野市と千葉県柏市を訪れました。あきる野市では広報紙の紙面構成のリニューアルについて、柏市では議会広報の現状と課題について意見交換を行いました。



東京都あきる野市



千葉県柏市

主権者教育（中学生・高校生の議会傍聴）

主権者教育の一環として、友部第二中学校・友部東特別支援学校中学部（12月9日）、IT未来高校（12月10日）の計3校の生徒が市議会を傍聴しました。ここで、いただいたご意見の一部を紹介します。

- ・自分にはあまり関係ないと思っていましたが、意外と身の回りのことについて話していました。これからホームページなどを見て、笠間市について考えていきたいです。
- ・A I字幕で質問答弁の内容が表示されていて、耳の不自由な方への配慮がされていました。
- ・話題が学校や環境の話で、議会を身近に感じました。
- ・問題解決のために一生懸命に質問と答弁をしていました。ほかの生徒や家族にも紹介したいです。
- ・少し難しい内容もあったけど、市民のために頑張っていることがよくわかりました。
- ・議会を傍聴したのは初めてだったので、いい経験になりました。
- ・質問も答弁もとてもスムーズで、問題や対策についてもしっかりと考えていて、議会のすごさを知りました。
- ・質問者の視点が鋭く、また答弁者の回答も的確でした。様々なデータや例を出しながら話していて、わかりやすかったです。

